

動脈硬化の程度は、ABやPWVなどの検査項目であらわします

↑ 矢印を下向きにセットしてお使い下さい。

AB(足関節上腕血圧比)

動脈の詰まりの程度を表しています。
ABの値は低くなるに従って狭窄や閉塞の可能性が高くなります。
標準値は0.9~1.3です。

AB評価基準

ABI < 0.9 狭窄または閉塞の疑いあり
1.3 < ABI 足首の血圧が高め
(石灰化などの疑い)

PWV(脈波伝播速度)

動脈の硬さの程度を表しています。
年齢が高くなるに従ってPWVの値は高くなります。

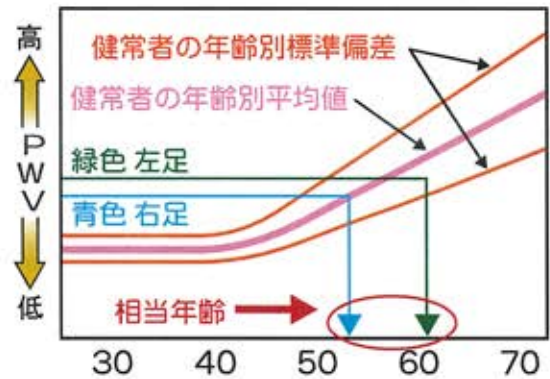
PWVの評価基準

R(L)-PWV ≥ 13.5m/s 動脈硬化の疑いあり
PWV* ≥ 9.0m/s 動脈硬化の疑いあり

相当年齢

今回のR(L)-PWV測定値と患者さんの実年齢などを考慮して相当年齢を算出しています。

(かならずしも健常者の年齢別平均値に一致するわけではありません。)



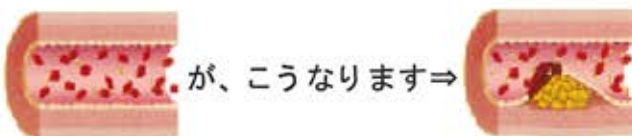
BM(肥満度・体格指数)

$BM(kg/m^2) = \text{体重 } kg \div \text{身長 } m \div \text{身長 } m$
BMが25以上の場合を肥満としています。



今、動脈硬化の患者さんが増えています

動脈硬化になると



動脈硬化はあまり自覚症状がありません。しかも放置すると、狭心症・心筋梗塞・脳出血・脳梗塞など命にかかわる疾患の原因となります。

定期的に検査を受けて、動脈硬化の早期発見と治療に努めましょう